

そら豆の会第6回関東地区交流会

参加者：

三川さん、三川さん奥様、呑み助さん、フジモリさん、つらいさん、Lilyさん、KAZUさん、きみちゃんさん、すまいるさん、しみずさんと娘さん、くみくみさん、まさこ

注意：以下に書かれている情報は各参加者の個人的な意見ですので、情報の正しさについて保証するものではありません。

①自己紹介と近況報告

みなさんの近況報告を紹介します。

●気をつけて生活している

- ・手術後、定期的に検査しているが、気分的に波がある。先生も理解していて、検査の期間が短め。少しずつ安定してきた
- ・摘出後に4年たたないうちに肺に転移した。右肺下葉をとった。インターフェロンを週2, 3本を4年間続けた。現在は元気に仕事をし、楽しみをみつけながらやっている。アガリスク入りのプロポリスや水にも気をつけている。
- ・最初は3カ月に一度のCTが、1年後から1年に1回になった。太らないことと、ストレスをためないことを気をつけている。人参ジュースを毎日飲んでいる。キャベツのコールスローもとっている

●ご家族（お嬢様）がお父様を心配されての参加、情報収集

お父様が腎臓がんや腎盂がんの、娘さんも参加され、ご家族のために情報収集され、食事や代替療法などについて熱心に話されていました。

- ・末期がんといわれてしまった。ジェムザールなどを使っている。フコイダンを服用し、副作用が減ったようだ。経過は今のところよい。免疫を下げない様工夫している
- ・2008年に右腎臓に腫瘍で、そのあと肺にも転移した。ネクサバールを使って現在はほとんど縮小した。今は趣味にいそしんでいる。
- ・腎盂がんで摘出したばかり。（お父様を気遣って）野菜ジュースを毎日つくったり、食事（肉はやめる、など）に気をつけている。

●すっかり元の生活に・・・お酒、太ってしまった

- ・患者の会にふさわしくないぐらいに毎日お酒を飲んでしまっている
- ・手術後、無事に検査をクリアしているものの、太ってしまった。今は腎臓がんよりも胆の

うや、糖、中性脂肪にチェックがいつている

・みんなに会うのが楽しみでこの会に来ている。1, 2年は疲れやすかったが、3年たつと普通になり、太ってしまった。がん患者という重さはある

②フリートーク

■食生活はどんなことに気をつけたらよいか？

●肉はだめなのか？餃子なども？

- ・食べすぎなければよいのではないか？
- ・生活の楽しみの一つなので、かえってストレスになるのではないか。
- ・規則正しく食べて、生活のリズムに気をつけるべき。神経質になり過ぎない。

●食材

- ・キノコがよいときく。まいたけは肺がんによいという話もある。まいたけエキスなど
- ・安全な食材。無農薬のもの、新鮮なもの
- ・キャベツ。NK細胞。
- ・温野菜。蒸した野菜
- ・ミネラルのはいつている塩
- ・にんにくがよいという話もある

●お酒や飲み物

- ・関係ないという話もある
- ・水を飲んで運動するというのがよいと言われた

●人参ジュース

- ・ジュースで3本。200CCぐらいとれる。レモンかお酢をいれる。
整腸作用もある
- ・リンゴをいれると飲みやすい
- ・セロリ、キャベツもよい。

■検査

●体が痛いと転移かと思ってしまう

- ・画像診断をしてもらってれば、普通は先にみつかるはず(骨に関してはどうなのか?)

●骨シンチ

- ・受けたことのある人はこの日の参加者で数名
- ・1年に一度受けている
- ・以前受けて、影が出たが、それは以前はしごから落ちたときのものだった
- ・薬をいれたときの液漏れの影響で出たこともあった

■新薬、がん休眠療法

- ・三つめの新薬がでたが、発売までに一年かかっている

海外で認可されているが、日本人の体格などを考慮して、認可に時間がかかっているように思われる

・ネクサバールを使って、がんが消失した。非常によく効いた例だが、地域では1、2例しかないようだった。ネクサバールで間質性肺炎で死亡者が出たが、免疫力が落ちているのが問題ではないか

・がん休眠療法。がんと引き分けに持ち込むことが重要とよくメダカさんもいっていた。普通の生活ができる、苦しまないよう、少ない量でも効果があるのではないか。

・丸山ワクチンはどうか？いまだに使われているので効果の出ている人もいるようだ。副作用が少なく、他の薬との併用可能。ただ普通の病院では扱っていない